

## 考古博物館 企画展「三重のおかしな須恵器 part 2」について

### ◆趣 旨

考古博物館開館から間もない平成13年度に三重県内で出土した須恵器の中から、現在の私たちから見て「不思議な形をした須恵器」、研究者の目から見て「おかしな須恵器」などを「三重のおかしな須恵器」と題した企画展で紹介しました。

その後、市内の岸岡町天王遺跡や平野町平野遺跡などの発掘調査では、土管のようでもちょっと違う須恵器、器台に似た変わった形の須恵器、暗文のある須恵器など「おかしな須恵器」が出土しました。このような「おかしな須恵器」の調査事例が増加してきたことから、今回、これらの新資料を含め、三重県内や周辺の地域の「おかしな須恵器」を改めて紹介します。

考古学に馴染みのない方でも須恵器の「おかしな」ポイントが分かるように詳しく解説しながら、須恵器について理解を深め、考古学に対する関心を高めていただけるような展示とします。

### ◆と き

令和6年11月23日（土）から令和7年2月2日（日）まで

休館日：毎週月曜日、第3火曜日（祝休日の場合は開館）

祝休日の翌日（土曜日・日曜日・祝休日の場合は開館）

年末年始 令和6年12月27日（金）～令和7年1月4日（土）

### ◆と ころ

鈴鹿市考古博物館 特別展示室

### ◆主 催 鈴鹿市考古博物館

### ◆展示構成

◇よくある須恵器 —基本形—

◇これってなんだろう？

- ・みたことのない形や変わった形
- ・どうしてこの形になった！

◇須恵器の作り方とは違うかも？

- ・埴輪な須恵器
- ・土師器な須恵器

◇大きな須恵器と小さな須恵器

- ・標準サイズと規格外

◆主な展示資料	(出土遺跡)	(所蔵機関)
◇器台形土器・土管状土製品ほか	天王遺跡	鈴鹿市考古博物館
◇脚付壺・子持蓋	伝岸岡町	同上
◇暗文有台坏	平野遺跡	同上
◇長胴甕	伝秋永町	鈴鹿市立栄小学校
◇はそう・脚付壺ほか	石薬師東古墳群	三重県埋蔵文化財センター
◇筒形土器	高井 A 遺跡	同上
◇坏	山奥遺跡	四日市市
◇高坏	八重田 16 号墳	松阪市
◇鳥形はそう・二重はそう	神前山 1 号墳	明和町
◇器台形土器	牛牧遺跡	愛知県埋蔵文化財調査センター
		ほか

◆開館時間  
9時から17時まで（入館は16時30分まで）

◆観覧料

	常設展共通
一般・学生	200円
小中学生	100円

※団体（20名以上）は各50円引き

※障がい者の手帳等をお持ちの方とその介護者1名、未就学児、70歳以上の方は無料（証明できるものを窓口で提示）

◆関連講演会「三重のおかしな須恵器を読み解く」  
日時：令和6年11月30日（土） 13時30分から  
講師：渡辺和仁氏（三重県埋蔵文化財センター）

◆会期中のイベント（講演会）

◇博物館入門講座

第2回「須恵器を編む ー猿投編年を中心にー」

日時：令和6年12月7日（土） 13時30分から

講師：大西 遼氏（愛知県陶磁美術館）

◇寺院・官衙シリーズ講演会

第1回「教えて 郎女さん！ー奈良時代のキャリアウーマンの暮らしー」

日時：令和7年1月26日（日） 14時から

講師：<sup>さきのいらつめ</sup>佐紀郎女氏（平城宮勤務）

◆問い合わせ先

鈴鹿市考古博物館 担当 宮崎・吉田 直通電話 374-1994